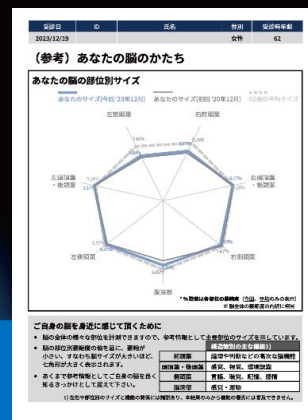
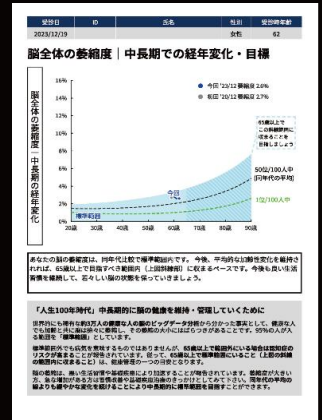
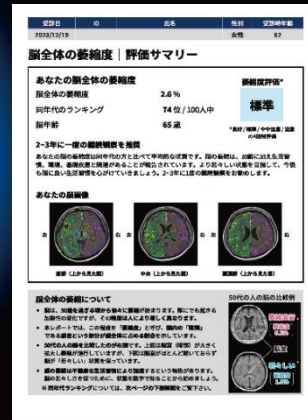


自分の脳の健康を自らの手で管理する

MVisionが拓く
新しい脳の健康マネジメント



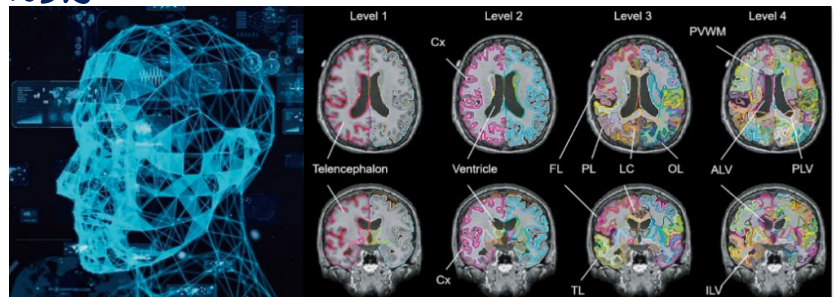
ご存知ですか？

- 脳疾患は健康寿命を奪う最大要因です。
- 脳の加齢性変化は30代から始まり、生活習慣が大きな影響を及ぼします。

あなたは自分の脳の状態をご存知ですか？
脳の健康管理は、認知症になってからでは遅いです。
体温や体重で健康管理をするように脳の健康管理を始めてみませんか？

MVision healthのなにが新しいのか

今までの脳ドックは医師の目視による脳の病気の早期発見を目的としていました。MVisionは最新のA I 技術とビッグデータに基づき、あなたの脳の健康状態を数値化することにより、「病気になる前の脳の健康管理」という新しい世界を提供します。



米国ジョンスホプキンス大(※)が開発したA I 技術です。
(※U.S.News「2023-2024医学部ランキング - 研究部門」全米2位)
世界的にも貴重な3万件超の日本人の脳画像データに基づき脳健康状態を解釈します

あなたも脳の健康管理、はじめてみませんか？

脳の萎縮と白い斑点は、誰にでも起きる加齢性変化です。しかし、年齢相応を過度に超えると、様々な疾病のリスクになります。脳の加齢性疾患の多くは一度発症すると治療が困難です。

だからこそ、未病における指標を使った脳の健康管理が大切です。MVisionは豊富なエビデンスとデータに基づいて、あなたの脳健康管理をお手伝いします。

MVision healthは何を見ているのか

私たちの脳は30歳を過ぎると徐々に変化していきます。この変化は遺伝や体質にもよりますが飲酒、喫煙、肥満、睡眠といった生活習慣に大きく影響されることが知られています。この変化の指標として脳の萎縮と脳に現れる白い斑点の2つを数値で評価します。

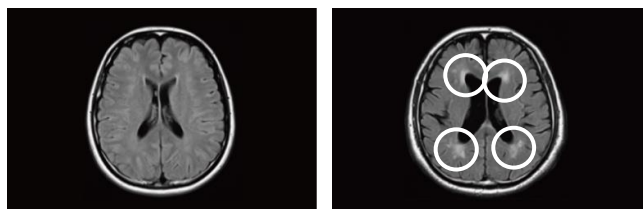


脳の萎縮



この2つの脳の画像は同じ50代の人のものであります。右の人の脳画像は、中心にある暗いエリア（脳室という空洞部）が拡大しており、脳の萎縮が進んでいます。脳の萎縮は脳の機能低下や将来の認知症発症のリスク因子と知られています。60歳を過ぎても30代並みの若々しい脳を保っている方の例も多くあり、加齢による萎縮の進み方は人によって大きく異なります。

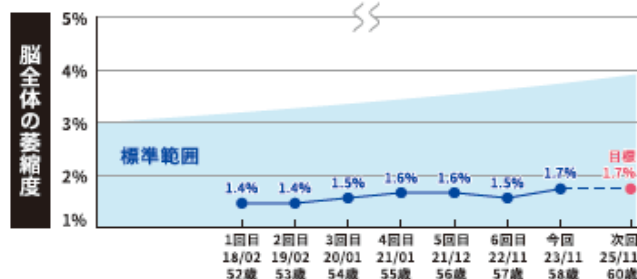
脳に現れる白い斑点



右の脳画像には白い斑点のようなエリアがあります。これは白質病変と呼ばれ、脳の血管の健康度の目安と考えられます。加齢とともに現れる変化ですが、中年期を過ぎるあたりから、その量は人により大きく異なってきます。

MVision healthは変化を数値化します

自分の脳がどのような状態にあるのかを知るのには、脳の健康管理の最初のステップです。健診の血液検査のように、脳の健康状態の推移を数値をもってモニタリングできるようになります。



申し込み方法

本検査は脳画像検査（MRI・MRA）をお受けになる方にのみ追加が可能となるオプション検査です。追加をご希望の方はお電話にてご連絡ください。

オプション料金：11,000円（税込）

免責事項

本製品は医療機器ではありません。いずれの評価も疾病の判定ではなく、同年代の平均との大小比較の結果を示しています。脳MRIを用いた健診で医師の所見がついた方は、その指示に従ってください。所見がない場合、あなたの脳は正常です。

実施医療機関

医療法人鉄蕉会 亀田京橋クリニック 健康管理センター
〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン4階

☎03-3527-9202
10:00～16:00（月曜～金曜）
10:00～12:00（土曜）
※日曜・祝日除く

株式会社エム MVision health 運営事務局
〒108-0073 東京都港区三田2-10-6 三田レオマビル10F
Mail: support@corporate-m.com

